

科目名	専門総合演習 「ようこそ言葉の森へ」		担当教員	深 谷 ベルタ		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	前期
<p>授業概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語感を磨き、語彙を増やし、自ら言葉及び文章を書くことに興味関心をもち、意欲的に取り組み、楽しみながら自ら解決すべき課題を発見すること。 ・よい文章に、その使用目的によって型があることを理解し、それぞれの形式に組み、使い分けられる。 ・社会人として必要な基礎的・汎用的能力となる言葉の力を磨き、実践することができる。 <p>■授業の概要</p> <p>保育者という専門職の仕事には様々な記録を書くスキルが欠かせません。そのような仕事も難なく、負担と感じずにこなせるようになるために、様々な授業で求められるレポートやエピソード記録が書けることに既に取り組んできたはず。少々苦勞している学生もいるはず。できれば避けたいと考える学生もいるかも知れません。でも、そのような思い（苦手意識）を乗り越える方法は一つしかありません。言葉の森に興味を持って入り、語感を磨きながら、自ら文章を書くことです。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 子どもの詩を読み、自分でも書いてみる</p> <p>第2回 詩を発表する</p> <p>第3回 ラップ調の歌詞を作る</p> <p>第4回 歌詞を発表する</p> <p>第5回 紙芝居を使って新しい物語を作る</p> <p>第6回 物語を発表する</p> <p>第7回 よい文章に型（基本形式）があることを学ぶ1</p> <p>第8回 よい文章に型（基本形式）があることを学ぶ2</p> <p>第9回 三つの言葉をもって物語型の三題話を書く1</p> <p>第10回 三題話1を発表する</p> <p>第11回 三つの言葉をもって物語型の三題話を書く2</p> <p>第12回 三題話2を発表する</p> <p>第13回 エッセイ型の文章に挑戦する</p> <p>第14回 エッセイ型の文章を発表する</p> <p>第15回 実習中に体験したエピソードにもとづいてエッセイを書く (前期に書いた文章を整理し、一冊にまとめ、提出する)</p> <p>■準備学習</p> <p>ペーパー媒体の国語辞典を用意し、確認した言葉に付箋を貼っていく。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章課題の達成度 — 50% ・取り組みの姿勢（関心と意欲） — 50% 						
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修	特記事項	<p>1 国語辞典（ペーパー媒体！）「新明解国語辞典第七版」（三省堂）小型版 A6変型判 本体2,800円+税 ISBN 978-4-385-13145-0</p> <p>2 大辞林（三省堂「スーパー大辞林3.0」のアプリケーション）</p> <p>3 エデュカーレ</p> <p>・辞書は紙媒体のものを必ず用意して下さい。参考文献として挙げた「新明解」の第7版（赤い表紙）です。自分で確認した言葉に付箋を貼っていくことで自分の言葉への関心度、獲得度が自分でも確認できるためです。普段から持ち歩く必要性はありませんが、最後の授業のときに持ってきて下さい。</p> <p>・電子版の辞典もあると便利です。無料でダウンロードできる辞典ではなく、良質で評価の高い電子辞典を手に入れましょう。</p> <p>・全ての文章は必ずパソコンで書かれたものをご提出して下さい。1年次に習得したパソコン技能を活用して下さい。</p>			
			幼	保		